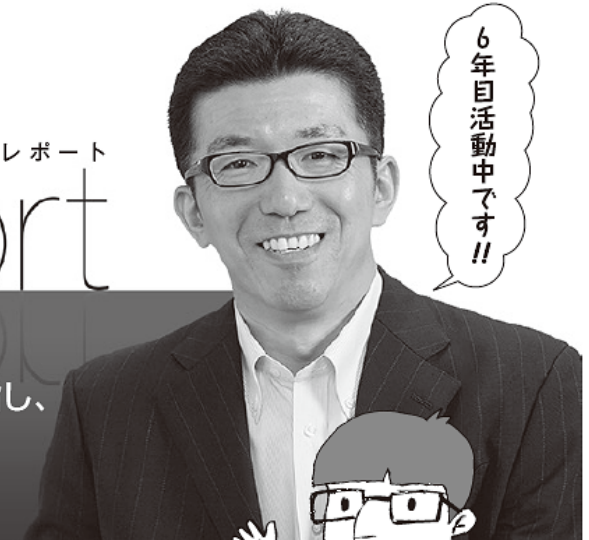


「世界にたったひとつの奈良」の実現に向けて
サラリーマン横井の活動をお伝えします

よこいレポート

YOKOI Report

6年目活動中です!!



奈良市議会議員の横井雄一でございます。
「サラリーマンが普通に政治に参画できる奈良」の実現を目指し、
小さなことから少しずつ、いつもみなさんの身近にいる
政治家として活動してまいります。

みなさんの声を議会で質問しました

① リニア新駅ができたらどうなるの。

【27年 3月議会】



横井の質問

リニア誘致活動は支持する。だが、奈良市民にとってどんなメリットがあるかを具体的に示すべきでは。

仲川市長の答え

奈良県の観光経済を豊かにするには奈良市以外では成立しない。具体的な経済効果等は調査中だが、わかり次第報告する。

さらに要望しました!

今後数十年にわたって誘致のエネルギーを維持するためには、どの産業がどれだけの効果があるのかといった、具体的な未来図を示すべきと要望しました。

② もっと奈良県と連携して。

【27年 3月議会】



横井の質問

今年1月、奈良市内の4地区(※)のまちづくりは、奈良県と一緒に人とお金を出し合って進めていこうという協定が結ばれたが、計画性を持って進めることができるのか。

※4地区…奈良公園周辺地区、大和西大寺駅周辺地区、八条・大安寺周辺地区、平松地区

仲川市長の答え

市は総合政策課が窓口となって進める。地区によって事業の性格が違うため進め方は異なるが、奈良県との人事交流も行いながら進めていく。

さらに要望しました!

一年度一年度、計画性を持って県の予算を確保し、緻密に進めてほしいと要望しました。

③ 奈良町の交通安全対策。地元の意向を汲み取って!

【27年 3月議会】



横井の質問

今年1月、奈良町の一部道路を「車両通行止め」にする実験をしたが、通行者の評判と今後の展望は。

市民生活部長の答え

実験時のアンケート調査では約8割の人が通行規制を肯定している。本格実施は、奈良警察と協議し、地元の意向を十分踏まえて検討したい。

さらに要望しました!

アンケートに答えられたのはたまたま通りがかった歩行者で、地元で販売をされている方の意見は反映されていない。警察行政の施策を丸呑みするのではなく、地元の意向を汲み取るべきと要望しました。

4 時代を先取りした駅前に!

【26年12月議会】

**横井の質問**

近鉄奈良駅は昭和45年に駅が地下になってから、基本的に空間の使い方は変わっていない。時代は変わっている。観光都市奈良の玄関口の駅前として、ふさわしい空間にすべきでは。

仲川市長の答え

観光バスの待機場や路線バスの乗降場を増やすなど課題があり、駅前を再整備する必要性を感じている。その進め方を国や県と協議したい。

5 手話を広めて、バリアフリーなまちに!

【26年12月議会】

**横井の質問**

26年9月、市長は実際にろう者と会談されて何を感じたか。また、手話を広め、バリアフリーなまちづくりを考える研究の場を27年度に作ってほしいが、市長の考えは。

仲川市長の答え

ろう者にとって手話は欠かすことのできないものと実感した。ろう者と手話関係者に呼びかけて意見交換できる場を設ける。

6 仕事ができる人材を確保して!

【26年12月議会】

**横井の質問**

地域の公共交通行政は身近で大切な課題だが、奈良市役所にその仕事に精通した職員がいない。国や県等から人材を招いては。

仲川市長の答え

その仕事に対処できる職員の能力を高める必要性を感じている。外部有識者の意見を取り入れ対応していきたい。

さらに意見を述べました!

職員が特定の能力を高めるには、その分野に精通した手本となる人材の確保が必要である。また、全庁的に調整が必要な課題が多いことから組織も見直すべきと、意見しました。

7 地元住民にもっと丁寧な説明を!

【26年12月議会】

(都市計画道路・猿沢線の拡幅事業)

**横井の質問**

平成26年10月15日、拡幅事業の初めての説明会があったが、市の対応への不満や事業への疑問が多かったと聞く。もっと丁寧に対応すべきでは。

建設部長の答え

地元住民の皆さんに十分な理解を得ていないので、再度説明会を開き丁寧に説明したい。

その後…

27年2月24日、改めて説明会が開催され、市の幹部によるまちづくり構想の説明がありました。

昨年、障害者の医療福祉助成制度を見直してはどうかと議会で取り上げました。

今!

現在の制度はこうなっています。

- ・助成対象者は身体障害者1級・2級、療育手帳を持っている重度障害者の方です。
- ・健康保険被保険者の自己負担分を全額助成できます。
- ・その助成金は、奈良県と奈良市が半分ずつ負担します。
- ・奈良県は対象者に所得制限を設けており、奈良市は設けていません。

問題点はココ!

横井が考える問題点はココです。

- ①奈良市は所得制限を設けていないので、一定の所得ある人の分は、奈良市が全額出すことになっており負担が大きい。【年間1億円】
- ②助成の対象でない中軽度障害者が2000人おられ、生活困窮者も多い。

そこで!

横井の提案は、

奈良県と同様に奈良市も所得制限を設けることにより、年間約1億円の財源を生み出し、その財源で、

- ①今まで助成の対象でなかった「中軽度の障害者」への助成財源にする。
- ②今まで制度すらなかった「精神障害者」への医療費助成の財源にする。

生活困窮している他の障害者に助成を広げようという考え方です。

私としても心苦しい提起でありましたし、すぐに実現はしません。

20数年前までのように、人口も増える、税収も増える、奈良市がとても豊かだった時代であれば、とても良い制度なのです。ですが、今、税収は減

る一方で、求める行政サービスは質も量も増えていきます。今までのやり方を続けるだけではすべての人に将来がないと考えます。

みなさん、いかがでしょうか。ご意見ください。よろしく願いいたします。

取組みの成果が出てきました!

近鉄奈良駅前広場南側の道路の暫定補修ができました

平成26年3月議会で、近鉄奈良駅前タクシー乗り場南側の歩道は激しく凸凹しており、雨天時には水溜りができ歩くのにも危険なことを取り上げました。

その結果、26年9月に暫定補修が完了しています。工事手法は、下地を整地し表面のブロック板はできるだけ再利用するやり方でした。見た目はあまり変わらないのですが、コストをかけずに整備するやり方で効率的な改善ができたと考えます。



<近鉄奈良駅前>

よこいくんの取組み

家庭ごみ・ふれあい収集の導入を目指して

大阪市環境局視察レポート

「ふれあい収集」とは、ごみの持ち出しが困難なお年寄りや障害のある方のために、市から直接ご自宅へごみの収集に伺う福祉サービスです。現在、奈良市にはありませんが、将来必要になる行政サービスであると考えています。

平成27年2月、近畿地方ではその制度をいち早く取り入れた大阪市の環境局を視察しました。大阪市は、平成8年からふれあいサービスを実施しており、現在、約9400人の方がそのサービスを利用されているようです。ごみ収集とともに、安否確認ができることも特長です。

今後、政策提起できるよう、研究していきます。

東日本大震災 被災地支援活動

「バイ・メイドイン・東北 運動」実施中!

「東北産のものを買おう」。東日本大震災後、毎冬、福島県のリンゴを10kgだけ買っています。今年も福島県の鈴木農園さんのリンゴが届きました。少しだけですが続けることが大切だと思っています。



<福島県鈴木農園さんのりんご>

世界一バリアフリーなまち「奈良」の実現を目指して

手話奉仕員養成基礎講座 修了しました!

昨年6月より受講していた「奈良市手話奉仕員養成講座」を、今年3月無事修了しました。10か月にわたる講座でしたが、手話を教えてくださったろう者の方や奈良市総合福祉センターの方、一緒に受講した皆さんに感謝したいと思います。今後の手話ボランティア活動の弾みにしたいと思います。しばらくは独学でがんばります。



<手話のしくみの本>

盲ろう者の通訳・介助活動を始めました!

平成27年1月11日、初めて、盲ろう者の通訳介助をしました。その方は、全く聴こえない・ほとんど見えない方でした。依頼者が新年会に参加されるということで、最寄駅から会場までの移動に始まり、他の人との会話を通訳したり、移動介助などをしました。すべてスムーズにできたわけではありません。ペアになったもう一人の介助員さんにすいぶんカバーしていただきましたし、依頼者のお気遣いもあって、無事通訳介助活動のデビューを果たすことができました。これからもがんばります。

みなさんのところへ、出かけて行きます!

政治のことをわかりやすくお話しします。それが、横井雄一の「出前トーク」です。



よこいくん

まずは、お電話ください!

横井雄一の電話番号

いごくわ よこいくん
090-1598-4519まで

よこいゆういち 検索